

# 北本のあゆみ

HISTORY of KITAMOTO

平成23年に市制施行40周年という記念すべき年を迎えた北本市。この地の歴史は、約2万年前にまでさかのぼります。先人の思いを未来へと手渡すために、北本のあゆみをたどってみましょう。

人々が暮らし始めた

## 原始・古代

北本の地に人々が住み始めたのは約2万年前。旧石器時代の人々が獲物を追いかけてきた跡が、下宿遺跡や提灯木山遺跡で発見されています。縄文時代になると高台にムラができました。デーンタメ遺跡からは全国的にも珍しい漆塗土器が、宮岡氷川神社前遺跡からは耳飾りや土偶などマツリの道具が出土しました。古墳時代になると荒川沿岸に集落や古墳が多く造られました。

奈良・平安時代には仏教が伝わり、下宿遺跡からは仏像の描かれた紡錘車が、讃岐谷遺跡からは「奉真願」と記した墨書土器が出土しています。



宮岡氷川神社前遺跡出土の土偶  
(写真提供：北本市教育委員会)

武士が活躍した中世・交通の要衝となった

## 中世・近世

鎌倉時代には、石戸氏の館と思われる堀ノ内館が構えられました。大宮館跡からは中国製の高価な青磁が出土しました。戦国時代には石戸城が築かれ、上杉氏と北条氏の攻防の前線基地とされました。

江戸時代には、中山道の宿場が鴻巣へ移転。「本宿」という地名はその名残です。2カ所に立場(休憩所)が設けられ、街道を行き交う人でにぎわいました。荒川には3カ所に河岸場が設けられ、江戸と結んで物資や文化が行き交いました。



中山道分間延絵図(本宿付近)  
(写真提供：東京国立博物館 TNM image Archives)

村から町へ、そして北本市へ

## 明治〜現在

明治22年、合併により14の村が中丸村と石戸村の2村となりました。

昭和初期には、石戸村でトマトの栽培が盛んになり、組合により製造されたトマトクリームは御大礼博覧会で日本一となりました。

昭和18年には中丸村と石戸村が合併し、北本宿駅の駅名から北本宿村となりました。昭和30年代以降には人口が急増。同34年に町制施行し北本町に、同46年には市制を施行して「北本市」が誕生して現在に至ります。



町制施行の旗行列(昭和34年)  
(写真提供：北本市教育委員会)

### History of Kitamoto

Settlements were first established in Kitamoto about 20 thousand years ago. After the 3rd century AD, many settlements and mounded tombs were made. In the 8th century, Buddhism was introduced. From the 12th to the 19th century, warriors took an active part in the city's development. In those days, commodities and culture came in and out from Kitamoto through the roads and waterways. In 1889, Nakamaru Village and Ishito Village were established. In 1943, the two villages merged, and Kitamoto-juku Village was established. In 1959, Kitamoto-juku Village became Kitamoto Town, and then Kitamoto City in 1971.

北本のあゆみ			社会の出来事
昭和	3年	5月 石戸トマトクリームが、御大礼博覧会で優良国産賞を受賞	第1回普通選挙実施
		8月 高崎線北本宿駅営業開始	張作霖爆殺事件
	16年	3月 多聞寺のムクロジが県天然記念物に指定	太平洋戦争始まる
	18年	2月 石戸村と中丸村が合併、北本宿村誕生	改正市町村制実施
	25年	6月 駅前に北本宿村役場を新築	朝鮮戦争勃発
	27年	7月 高崎線が電化され、電気機関車が走る	ソ連が人工衛星スプートニク1号の打ち上げに成功
	34年	11月 町制施行により北本宿村を北本宿町とし、名称変更により北本町誕生	新国民健康保険法施行
	36年	3月 北本宿駅が北本駅に改称される	国産初の電子レンジ発売
	37年	5月 大宮～鴻巣間国道17号が開通	東京都の人口が世界1位(1千万人突破)
	38年	4月 現在地に町役場庁舎が完成	米ケネディ大統領暗殺
	39年	7月 北本町・鴻巣市・吹上町・菖蒲町・川里村で北本地区衛生組合を設立	東海道新幹線開業
		10月 オリンピック東京大会の聖火が町内を通過	東京オリンピック開幕
	40年	8月 町章が制定される	ソ連が人類初の宇宙遊泳に成功
	46年	4月 北本市で初めての保育園、中央保育所開所	沖縄返還協定調印式
		9月 日本住宅公団北本団地第一次入居開始	ソニーが世界初のカセット式テープレコーダーを開発
		11月 市制施行により、北本市誕生	
	48年	1月 北本市の歌、北本音頭ができる	江崎玲於奈氏、ノーベル物理学賞受賞
	49年	7月 子供公園が開園	ジャンボ宝くじ発売
		8月 市立図書館が開館	佐藤栄作元首相がノーベル平和賞受賞
	50年	4月 県立北本高等学校が開校	山陽新幹線、岡山～博多間開業
		4月 北本駅西口広場が完成	ベトナム戦争終結
	52年	9月 北本駅橋上駅舎が完成	初の静止気象衛星ひまわり1号打ち上げ
		11月 市の木「さくら」、市の花「きく」を制定	王貞治氏、756号ホームラン世界記録達成
	53年	12月 老人福祉センターが開館	日中平和友好条約調印
	54年	2月 人口5万人となる	国立大学第1回共通一次試験実施
		6月 防災行政無線スタート	アジア初の東京サミット開催
	56年	11月 市民憲章制定、北本市社会福祉協議会を設立	福井謙一氏、ノーベル化学賞受賞
	57年	5月 荒井橋が永久橋として開通	カード式公衆電話登場、テレホンカードブーム
	59年	3月 埼玉中部環境センター完成	参議院議員選挙に比例代表制を導入して実施
		4月 中央公民館・中央図書館の複合施設、文化センター完成	
		4月 あすなる学園(精神薄弱者通所授産施設)開所	
	61年	11月 第1回北本まつり開催	国鉄分割・民営化でJR誕生
	62年	5月 北本総合公園・荒井公園テニスコート完成	朝日新聞阪神支局銃撃事件
		6月 人口が6万人となる	大韓航空機爆破事件
	元年	4月 北里研究所メディカルセンター病院開院	消費税3%導入
	2年	9月 シルバー人材センターを設立	東西ドイツ統一
	3年	6月 体育センターが開館	湾岸戦争開始
		10月 福島県河沼郡会津坂下町と姉妹都市を提携	ソ連邦消滅
	4年	7月 北本自然観察公園が開園	ブラジルで国連環境開発会議(地球サミット)開幕
	5年	6月 総合公園野球場がオープン	Jリーグ開幕
	6年	8月 人口が7万人となる	大江健三郎氏がノーベル文学賞受賞
	7年	6月 高尾さくら公園が開園	阪神淡路大震災発生
	8年	3月 第1回さくらまつりを開催	HIV起訴和解、薬害エイズ問題
		4月 常備消防の広域化(埼玉県中央広域事務組合)	アトランタ五輪開幕
		7月 野外活動センターのキャンプ場が開園	和歌山でカレー毒物混入事件
	10年	10月 北本市児童憲章「北本っ子未来への誓い」を制定	米国で同時多発テロ発生
	13年	4月 駅西口ビルが完成	アジア初の日韓共催サッカーW杯開幕
	15年	5月 地場物産館「桜国屋」が開館	住基ネット本格稼働、新サービス開始
16年	10月 彩の国まごころ国体開催	新潟県中越地方で震度7の地震発生	
	11月 北本ピアノコンクールを開催	インド洋スマトラ沖地震で津波被害	
17年	9月 高尾宮岡ふるさとの緑の景観地が県の緑のトラスト保全第8号に決定	JR西日本で列車脱線衝突事故発生	
19年	1月 市民大学きたもと学苑を設立	新潟県中越沖地震	
	2月 北本ジュニア囲碁まつり2007を開催	郵政民営化スタート	
20年	4月 地域食材供給施設「さんた亭」がオープン	日本人科学者4名がノーベル賞受賞	
	5月 クレジットカードによる市税等の納付を開始	オバマ氏、米国初の黒人大統領に就任	
21年	1月 第1回きたもとアマチュアバンドフェスティバルを開催	裁判員制度施行	
	3月 子供公園に40mを超えるローラー滑り台を設置		
	5月 江崎グリコ(株)の新工場の建設が決定		
	9月 北本市自治基本条例を制定	改正臓器移植法が成立	
	10月 北本市デマンドバスのテスト運行開始	インドネシアスマトラ島沖大地震発生	
	10月 日本文化デザイン会議2009「アートプロジェクト in 北本市」を開催	オバマ米大統領ノーベル平和賞受賞	
22年	1月 乳幼児医療費支給対象を中学生まで拡大	小惑星探査機「はやぶさ」が7年ぶりに帰還	
	3月 圏央道「桶川北本インターチェンジ」が開通	尖閣諸島沖で中国漁船が海上保安庁の巡視船に衝突	
23年	11月 市制施行40周年	東日本大震災発生	

※写真提供：北本市教育委員会